

参加者募集!!

一般の方も、大歓迎です。
ぜひ、お出かけ下さい

宮城県地名研究会

地名は、
わたしたちの大切な
財産・宝物です。

「28年度総会・講演会と春の研究発表会」開催のお知らせ

- ★日 時 **5月22日(日)**
午前10時～午後4時(受付開始 **9:30～**)
- ★会 場 大崎市 鹿島台公民館 2F 第1研修室
- ★費用
・参加費(資料代など) 1,200円
・弁当代 600円
・懇親会費 600円
- ★申込〆切 5月15日(日)

懇親会では、いつも疑問やお互いの研究成果、報告などの
意見交換と参加者の親睦をはかるものです。

【研究発表者と主題】

1. 「只見」地名の由来について

アイヌ語による考察

菅原孝郎(仙台市 当会会員)

2. 砂沢遺跡と青森県における弥生早期の考察

勝又秀夫(仙台市 当会会員)

3. 延宝六(1678)年「大口村絵図」を行く

-絵図解説と地域探訪-

玉造の会(当会支部) 鴫田勝彦

4. 大迫川流域の地名を探る

庄子 勲(大和町 当会会員)

5. 「青」の地名の地から

太宰 幸子(当会会長)



演題 「新田柵について」

講師 大崎市教育委員会文化財課主査

車田 敦 先生

- 『続日本紀』に、天平9年(737年)には、陸奥国に多賀柵・牡鹿柵・色麻柵・玉造柵・**新田柵**の5つの城柵があったと記されていて、「天平五柵」と呼ばれています。
- 大崎市田尻町八幡・大嶺エリアからは、奈良・平安時代の土器や瓦が多く出土し、丘を囲むように土塁や堀の跡が見つかります。
- 新田柵跡の発掘に、長年携わっておいでの車田敦先生から、生のお話をお聞きできるチャンスです。



申込・問合せ先

宮城県地名研究会

◎会長&事務局 太宰 幸子 TEL&FAX 0229-56-9459
〒989-4104 宮城県大崎市鹿島台広長字鹿島71-5